

牧師室から (2023.1.22)

今日(22日)は礼拝後に懇談会がある。コロナ禍になってから久々の礼拝、祈祷会以外の集会である。このような試練がすでに三年も経っていて、オンラインで礼拝を守る時もあったが、現在は教会堂で礼拝を守れている。このような状況の中でも、変わらず、礼拝を守り続けている信徒の方々を思うと心強くなる。当初は、教会がクラスターになったら存亡にかかわるのではないかと非常に危惧をしたこともあったが、現在では感染者が出てそれほど驚くことはなく、早い復帰を願うくらいになった。それでも礼拝はまだ短縮した形式だし、礼拝(CSを含む)と祈祷会以外の諸活動はほぼ行われていない。礼拝に関しても短縮した形がすでに長く続いているので、何だかこれに慣れてしまった気がするのは私だけであろうか。今年になってこの懇談会を始めとして、学習会も再開することとなり、また他の集会も徐々に回復してもいいのではないかと期待している。

教会というのは基本的に集会であり、本来「今、ここで」という主の臨在を共有する者の集いであるので、顔と顔を合わせて主にある交わりをすることは大事なことではないかと思う。

今日の懇談会が豊かな話し合いの場となるように願っている。

(鈴木淳一牧師)